

望月 美也子 (もちづき みやこ : MOCHIZUKI Miyako)

ライフデザイン総合学科

【職 名】 准教授

【最終学歴】 名古屋大学大学院 医学系研究科 博士後期課程 退学

【学 位】 修士(生活科学)

【専門分野】 栄養教育、ライフステージ栄養学、臨床栄養学、応用健康科学

【担当科目】 栄養教育論 I、栄養教育論実習 I、ライフステージ栄養学、ライフステージ栄養学実習、臨床栄養学、臨床栄養学実習、食育実践演習、栄養士校外実習事前事後指導

【所属学会】 日本栄養改善学会、日本ビタミン学会、日本老年医学会、日本体力医学会

【研究課題】・個人:栄養成分が各ライフステージの神経機能に及ぼす影響

・共同:栄養成分や身体活動量の増加による認知症およびフレイルの予防

【主な教育研究及び社会的活動】

(1) 論文

- ・25-Hydroxy Vitamin D Exhibits NGF-like Activity in PC12 Cell, 筆頭著者, IJCND, Vol.7, pp.159-162 (2021.9)
- ・Association between Serum Vitamin D Levels and Muscle Weight of Adult Day-Care Center Clients in Three Different Latitude Areas of Japan, 共著, IJNCP, Vol.9, 355 (2022.3)
- ・A Novel Method to Predict Cognitive and Physical Function, Muscle Weight and Quality of Life in Japanese Elderly Using Deep Learning, 共著, IJNCP, Vol.9, 366 (2022.12)
- ・Prediction of Serum Vitamin D Levels in Japanese Older Adults Using XGBoost Algorithm and Logistic Regression, 共著, IJNCP, Vol.10, 373 (2023.5)

(2) 学会発表

- ・Relationship Between Cognitive Function and QOL in Community-dwelling Elderly: Focusing on Social Frailty, MOTNC2021, Malaysia (2021.4)
- ・PC12 細胞に添加したビタミン D が神経突起の伸長と神経分化に及ぼす影響, 共同, 日本薬学会第 142 年会, 愛知県(2022.3)
- ・非対面による認知機能および身体機能評価の検討(パイロットスタディ), 共同, 第 64 回日本老年医学会学術集会, 大阪府(2022.6)

【その他特記事項】 研究費の獲得

- ・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)、自閉症スペクトラム児の症状緩和に及ぼす血清ビタミン D 濃度の検討、研究代表者(2020.4-2024.3)
- ・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)、タイ北部に倣うエンターテインメントケア:持続可能な認知症予防プログラム開発と評価、研究分担者(2021.4-2024.3)
- ・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)、認知症者の少ないタイ北部に学ぶ認知症予防対策～脳血流量と生活習慣の関係を基に～、研究分担者(2017.4-2024.3)
- ・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)、人工知能を利用したフレイル予防に関する臨床的研究、研究分担者(2022.4-2026.3)
- ・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究(C)、高齢者サロンを利用したプレフレイル状態の可逆性の検討、研究分担者(2018.4-2024.3)